

避難はしごQQラダー

取扱説明書

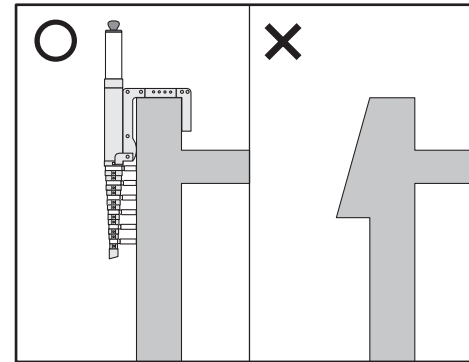
保管用

ご使用前に付属のDVD、取扱説明書を必ず熟読の上、正しくお使い下さい。この取扱説明書は必ず保管して下さい。

設置場所の選定

→ DVD: 設置方法を合わせてご確認ください。

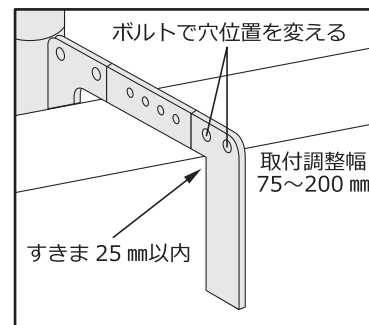
- 地面まで、壁面がまっすぐな場所を選んで下さい。
- 窓枠や手すり等の強度を確認して、堅固な場所を選んで下さい。
- 避難経路に物を置かないで下さい。



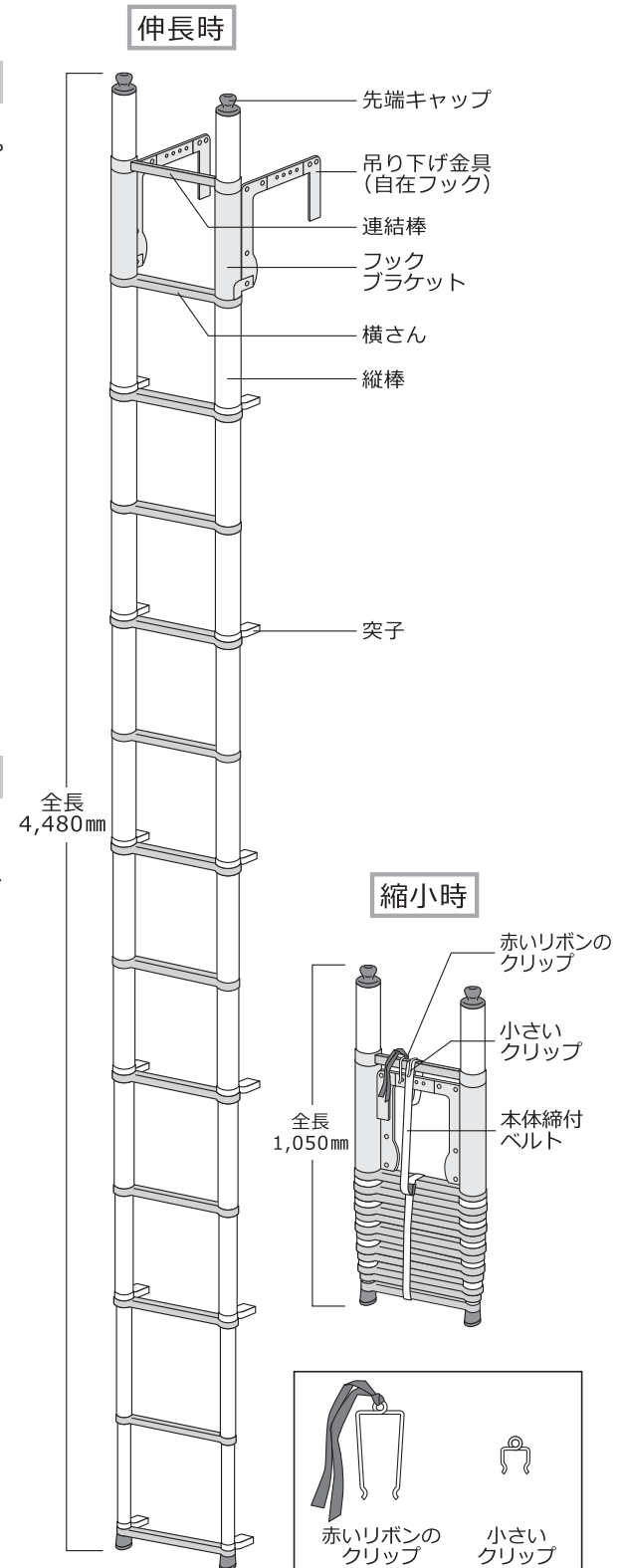
吊り下げ金具の調整・確認

→ DVD: 設置方法を合わせてご確認ください。

- 設置場所の幅に合わせ調整して下さい。
- 調整ボルトを外し、自在フックの幅を合わせ、ボルトナットで堅固に固定して下さい。

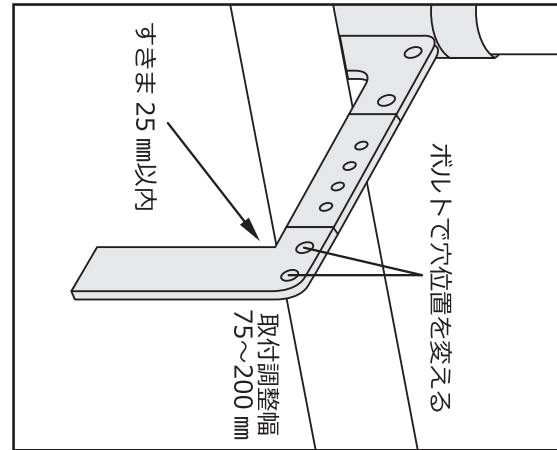


- !
- 避難はしごの設置は、堅固な場所を選んで下さい。
 - 事前に吊り下げ金具の幅を調整して下さい。
 - 調整後のすきまを 25 mm 以内にして下さい。守らないと避難時に使用できなかったり、転落事故の原因となります。

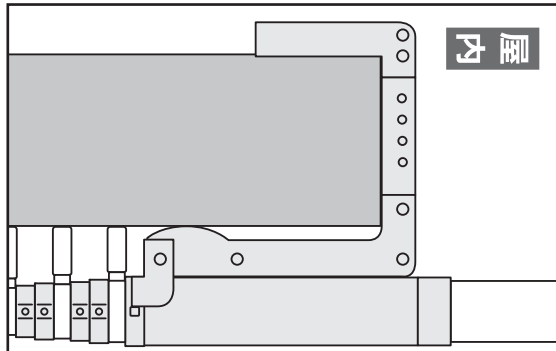
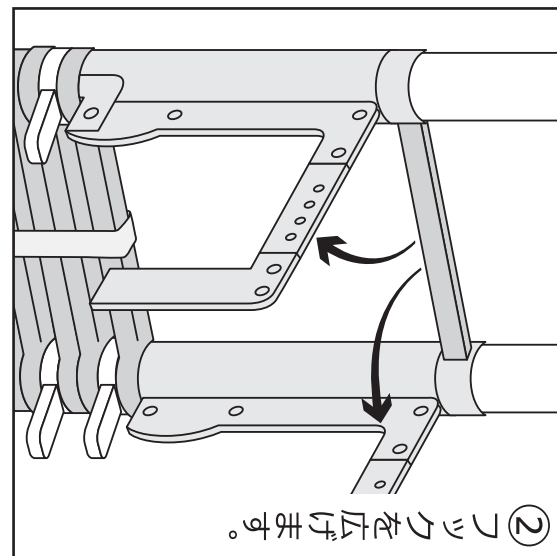
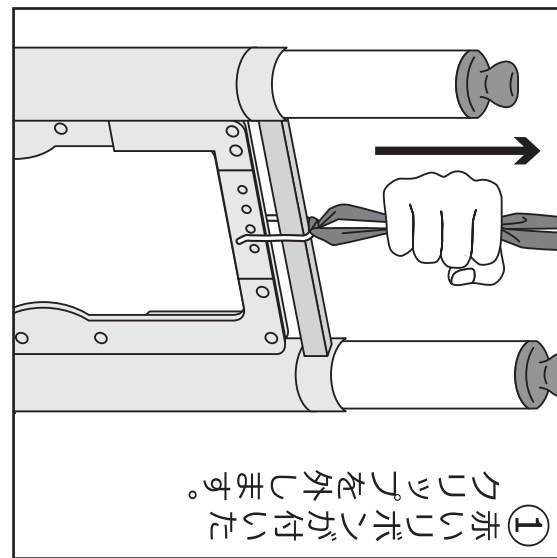


取扱説明書 保存用

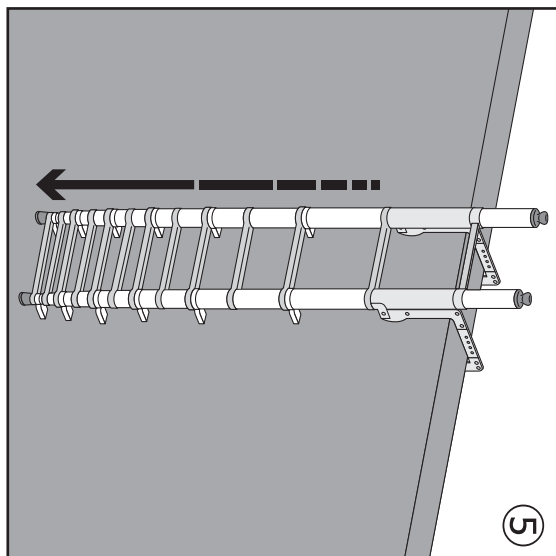
ご使用前に付属のDVD、取扱説明書を必ず熟読の上、正しくお使い下さい。この取扱説明書は必ず保管して下さい。



必ず事前に、設置場所に吊り下げ金具の幅を調整して下さい。



③ あらかじめ調整した吊り下げ金具を用いて堅固な窓枠・手すり等に引っ掛けます。



⑤

屋内からみた図

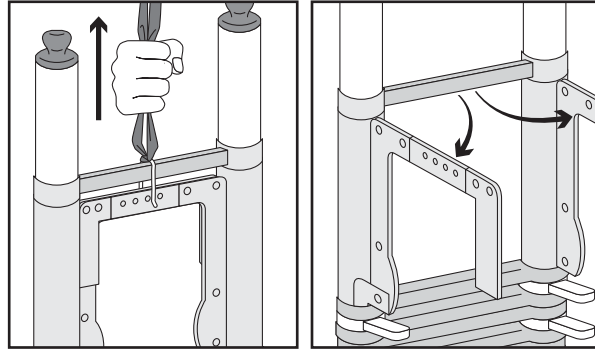
④

本体締付ベルト(黄色のベルト)を引き上げ、ベルトを手からはなします。

使用方法 → DVD: 使用方法 を合わせてご確認ください。

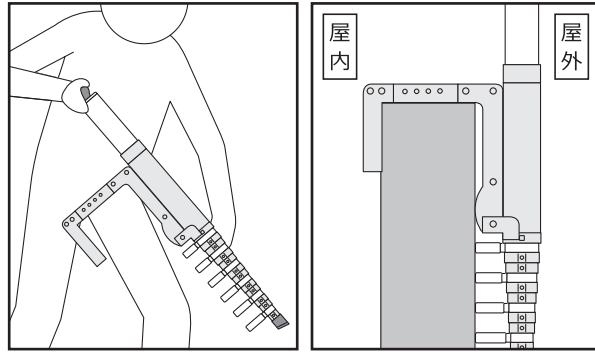
① 避難はしごを取り出す。

QQラダー本体を収納袋から取り出し、赤いリボンのついたクリップをはずし、フックを展開させます。



② 吊り下げ金具をかける。

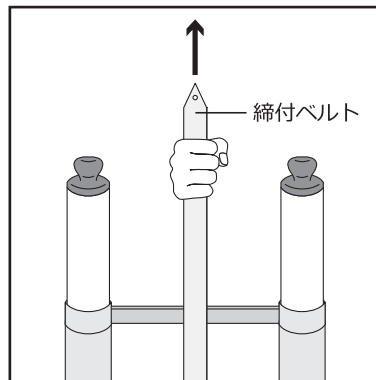
フックを展開させたまま、本体を手前に倒し、体につけるように抱え込みます。そのまま窓枠等、あらかじめ決めた避難経路にかけます。



- 下方の安全を確認して下さい。
- 吊り下げ金具を堅固な窓枠・手すり等にかけて下さい。
- 避難経路にかけるとき、転落の恐れがあります。十分注意して下さい。守らないと事故や転落の原因となります。

③ 避難はしごを展開する。→ DVD: 練習・訓練方法 を合わせてご確認ください。

本体締付ベルト(黄色のベルト)の端部を持ち、強く上方に引きあげ、ベルトから手をはなします。
※強く上方に引き上げる際、小さいクリップも同時に外れます。
本体が自重で展開し、同じくベルトも落下します。



- 下に人がいないか確認して下さい。守らないと事故の原因となります。
- ベルトを握り続けると展開せず事故につながる恐れがあります。

④ 降下方法 → DVD: 使用者(ユーザー様)の訓練方法 を合わせてご確認ください。

避難する場合ははしごに体を向け、建物手すりや窓枠または、QQラダーの縦棒や横さんをしっかりと握り、横さんに足をかけて下さい。降下時は横さんを握り降下して下さい。



- はしごをしっかりと握り降下して下さい。手をすべると転落の原因となります。
- 飛び降りやゆさぶりはしないで下さい。
- 荷物等を持つての避難はしないで下さい。
- スリッパ等、すべりやすい物での避難は危険です。守らないと転落等の事故につながります。

回収方法 → DVD: 回収方法 を合わせてご確認ください。

最上部、連結棒中央部をしっかりとロープで結び、ゆっくりと吊り降ろし、下で回収して下さい。



- 回収時に十分に気をつけて下さい。転落の恐れがあります。
- 重量物につき、ゆっくりと吊り降ろして下さい。ケガや指詰め事故等の原因となります。守らないと事故の原因となりますので十分ご注意ください。

点検・維持管理

- 必ず、半年に1回の点検を実施して下さい。
- 変形や破損・腐食がある場合は、使用をやめ新しい物と交換して下さい。守らないと機能不備により事故につながる恐れがあります。

警告

- はしごからの転落に注意して下さい。
- 使用前に必ず吊り下げ金具の幅調整を行って下さい。
- 調整後のすきまを25mm以内にして下さい。守らないと避難時に使用できなかったり、転落事故の原因となります。
- 設置基準にしたがってご使用下さい。
- 本製品の改造はしないで下さい。
- 訓練を行って下さい。
- 訓練・避難時以外は使用しないで下さい。
- 避難経路と保管場所をご確認下さい。
- 取扱説明書を熟読し、避難時にすぐご使用になれるようにして下さい。
- 重量物につき、取り扱いには十分ご注意ください。
- 避難はしごの設置は、堅固な場所を選んで下さい。
- 事前に吊り下げ金具の幅を調整して下さい。
- 下方の安全を確認して下さい。
- 吊り下げ金具を堅固な窓枠・手すり等にかけて下さい。
- 避難経路にかけるとき、転落の恐れがあります。十分注意して下さい。守らないと事故の原因や転落の原因となります。
- 下に人がいないか確認の上、避難はしごを展開させて下さい。守らないと事故の原因となります。
- ベルトを握り続けると展開せず事故につながる恐れがあります。
- はしごをしっかりと握り降下して下さい。手をすべると転落の原因となります。
- 飛び降りやゆさぶりはしないで下さい。
- 荷物等を持つての避難はしないで下さい。
- スリッパ等、すべりやすい物での避難は危険です。守らないと転落等の事故につながります。
- 回収時に十分に気をつけて下さい。転落の恐れがあります。
- 回収時、重量物につき、ゆっくりと吊り降ろして下さい。ケガや指詰め事故等の原因となります。
- 吊り下げ金具の調整時、訓練時、避難時には、壁等に傷がつかますので、取扱いには十分ご注意ください。

上記を全て守って下さい。守らないと事故の原因や避難時に使用できなくなります。

同梱包品

- 本体【付属品：赤いリボンのクリップ・小さいクリップ・本体締付ベルト(黄色のベルト)】
- スパナ ● 収納袋 ● 回収ロープ ● 取扱説明書 ● DVD

【伸長時】

全長 mm	重さ kg	自在フック調整幅 mm	用途	有効寸法 mm	取付最大寸法 mm
4,480*	17	75 - 200	2階用	3,790	4,570

【縮小時】

全長 mm	幅 mm	奥行き mm
1,050*	470*	140*

*寸法は±50許容寸法です